

「第3期浦河町地方創生総合戦略」について

浦河町役場企画課SDGs・地方創生推進室

1 はじめに

浦河町は、北海道日高振興局管内の南部に位置し、東は様似町、西は新ひだか町、北は日高山脈、南は太平洋に接しています。町の地形は、大部分を日高山脈とその前山が占めており、山岳は、神威岳（標高1,600m）、楽古岳（標高1,472m）などがあり「日高山脈襟裳国定公園」の一角を占めています。町の総面積は、694.26km²でその81%を山林が占めています。海洋性気候の影響で夏は涼しく、冬は温暖なため「北海道の湘南地方」とも呼ばれ、豊かで住みよい自然環境に恵まれています。町内には約200の牧場（生産・育成）があり、3,000頭以上のサラブレッドが駆け回っています。豊かな太平洋がもたらす海洋資源は豊富で、なかでも良質のダシ昆布「日高昆布」やサケ・マス、夏から秋にかけてのスルメイカは特産品となっています。

2 総合戦略の策定趣旨

浦河町地方創生総合戦略は、浦河町が将来にわたって活力と魅力のある地域として発展し、町民が夢や希望を持ち幸福と充実を感じ、生涯を通じてこの町に暮らしたいと思うまちを実現するため、人口減少と地域経済の縮小という難局の克服に立ち向かうために必要な施策等をまとめ、町民、地域、行政がまちづくりの方向性を共有し、まちの持つ可能性を最大限活かした協働と連携によるまちづくりを推進するための計画として定めるものです。

3 総合戦略の内容

第3期浦河町地方創生総合戦略は、浦河町人口ビジョンにおいて提示する本町の将来展望を踏まえ、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5か年の政策目標と講ずべき施策に関する基本方向及び具体的な施策をまとめたものです。

4 計画人口

人口ビジョンにおける人口の将来展望及び総合戦略に基づいて推進する各施策の取り組みの成果を見込み、令和8年度末の計画人口を11,000人と設定しています。（令和4年8月31日現在の人口11,700人）

5 まちの将来像

(1) 町の可能性

本町は、日高山脈と太平洋に囲まれた豊かな自然に恵まれ、軽種馬生産と漁業を基幹産業とする、馬のまち、海のまちとして今日まで発展してきました。農業や漁業を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、近年は、夏いちごの生産に力を入れ、日本一の生産量を誇るまでになっており、水産業においても、多様な栽培漁業に取り組んでいることから、若い世代や町外からの農業、漁業への新規就業者も増えてきています。

また、乗馬の町として乗馬療育を更に充実させようとする取り組みや、豊かな自然や地域の資源、第一次産業、食、文化等を活かした起業・創業、他にはない浦河ならではの観光の展開に挑戦しようとする動きもでてきており、人口減少の時代を迎えるにあたって、

今後のまちづくり活動や浦河町の未来への期待と希望があります。

(2) 町の将来像

浦河町で生まれ、育ち、暮らす町民が、誇りと生きがいを持ち、心豊かで幸せに住み続けられるまちを創りたいという気持ちは、町民の誰もが持っています。これからもふるさと浦河で暮らし続けていけるよう、そして、町を担う次世代のためにも、活気と魅力にあふれ、住みたいと思えるまちづくりを、今、進めていかなければなりません。これまでも、総合計画において、郷土愛を育み、町民、地域、行政が一体となってまちづくりに取り組み、これから浦河に住む人たち、子や孫、その先の世代の誰もがいきいきと輝けるまちづくりを目指すことと定め、人口減少問題に取り組んでいます。こうしたことから、総合戦略における町の将来像も、次のとおり総合計画と同じ将来像とし、その実現のためにまちづくりを進めていきます。

『だれもがいきいきと輝けるまち浦河』

6 第3期総合戦略の体系

総合戦略においては、町の将来像の実現のための取り組み方針を踏まえ、引き続き4本の政策目標を掲げて具体的な施策を展開していきます。また、各政策目標に属する具体的な施策の横断的な連携を図り、政策目標の実現性と施策の効果の向上を図ります。

— 4本の政策目標 —

■政策目標Ⅰ

競争力のある産業振興による活力あるまちづくり

■政策目標Ⅱ

潜在価値と魅力を活かした選ばれるまちづくり

■政策目標Ⅲ

子育て世代を支える優しいまちづくり

■政策目標Ⅳ

安心と連携で支えるまちづくり

7 SDGsの取り組み

まちの将来像の実現にあたっては、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を取り入れ、将来世代が希望を持ち続けることができる持続可能なまちづくりを進めます。

8 政策目標・施策

I 競争力のある産業振興による活力あるまちづくり

産業の振興と雇用の創出は、地域における人口確保と地域の活力と持続の可能性の基礎となるものです。そのため、基幹産業や新たな産業を支える後継者や担い手の確保と育成に努めるとともに、浦河町の強みである第一次産業の振興と、地域資源を活かした観光産業や食を中心とした関連産業の振興を促進することにより、社会経済環境の急激な変化や人口減少の状況にあっても耐えることのできる、足腰の強い新たな可能性と魅力を備えた産業構造の構築と、若い世代の就業機会の拡大を目指します。

(1) 第一次産業の振興

浦河の基幹産業である第一次産業の経営基盤の強化を図り、生産性と収益性を向上させることで若い世代を中心とした新規就業者の増加を図ります。

(2) 新たな観光産業の振興

「観光からのまちおこし」を推進するため、豊かな自然や軽種馬を始めとする第一次産業を背景とした町の資源や地域特有の施設等を利活用し、観光の推進体制の強化を図ることで新たな基盤産業としての観光振興を進め、地域産業への経済波及効果の拡大を目指します。



夏いちご・日高昆布

(3) 浦河産品の付加価値向上と消費拡大

第一次産業や観光産業の振興と連動する形で地域資源を活用した商品開発に取り組み、浦河産品や町の付加価値向上を図ります。

(4) 創業・第2創業支援と雇用の拡充

地域資源や充実した光ファイバーによる情報通信インフラを活用する等、多様な創業・第2創業支援を促進するため、関係機関連携による総合的な支援を講じるとともに、新卒者等の町内就職に対する支援措置を講じることで、新たな雇用機会を創出します。

II 潜在価値と魅力を活かした選ばれるまちづくり

浦河町の豊かな自然と夏冷涼で冬温暖な恵まれた気候、良質の食材、馬のまちという他にはない地域空間、来町者を温かく迎え入れる町民気質などの優れた魅力を活かし、移住・体験交流や観光など各種分野で新たな人の流れを創り出すことにより、地域経済の活性化を目指します。

(1) 移住・二地域居住の促進

町外からの完全移住や二地域居住の受け入れ環境の充実を図り、定住者や交流・関係人口の増加を図ります。

(2) 交流・関係人口の増加促進

- 1 夏は冷涼で冬は温暖な気候と町内の各種文化・スポーツ環境を活用して、合宿等が行える環境を整備し、町外からの交流・関係人口を呼び込み、町内の文化・スポーツ愛好者や競技者との交流により、町民の文化・スポーツ活性化を図ります。
- 2 継続的なプロモーションや受入環境の整備により、アフターコロナを見据えた国内・外国人観光客の誘致を行い、観光入込客数の増加を図ります。
- 3 浦河町の文化である馬のまちという独自性を活かした乗馬療育を推進することにより、国内外から利用者呼び込みます。
- 4 新しい働き方のスタイルとしてテレワークが急速に普及し、合わせて職場を離れ働きながら休暇を取



テレワーク・ワーケーション

るワーケーションが全国的に推進されていることから、ワーケーションの誘致を進め、現役世代の移住促進を図ります。

- 5 アイヌ文化の保存及び継承活動や発信拠点の施設整備等を行い、交流・関係人口の増加を進めます。

(3) 浦河応援団の獲得

町外からも浦河町に興味を持ち、応援者を獲得し、町のPR強化や交流・関係人口の増加につなげます。

III 子育て世代を支える優しいまちづくり

浦河町の合計特殊出生率は、北海道平均との比較では高い水準となっているものの、出生数の減少によって、人口動態としては自然減の状況が続いており、加えて若い世代の町外流出による人口の社会減が加速しています。このため、これからの町を支える若い世代が町内において結婚し、将来の町を担う地域の宝である子どもを安心して産み育てることができる環境を創ることにより、人口減少に歯止めをかけます。

(1) 結婚・定住支援の拡充

若者の結婚と定住を促進することにより、町を支える生産年齢人口の減少に歯止めをかけます。

(2) 子育て支援の充実

妊娠から子育て期の相談支援や経済的支援等を充実させることにより、町内における出生数の減少に歯止めをかけます。

(3) 仕事と子育てが両立できる環境づくり

保育や学童保育の充実を図り、仕事と子育てが両立できる環境の充実を図ります。



子育て支援



高齢者運動教室

(4) 教育の充実

子ども達の基礎学力向上につながる体制を充実し、子ども達が興味を持って取り組める学習環境の整備を進めます。また、地域の将来を担う子ども達の健やかな育成につながる教育環境の整備を図ります。

IV 安心と連携で支えるまちづくり

地域の活力を維持していくためには、時代にあった施策の展開だけでなく、町民が生涯を通して安心して生き生きと町で暮らしていくことを選択できる環境を整えることが重要となることから、必要な生活基盤や取り組み体制の確立を目指します。

(1) 安心な暮らしの確保

高齢者と子育て世代・子どもが集まることのできる施設を集約整備することにより、異世代交流の場や同世代交流の場を創出し、町民が心身ともに健やかに暮らせる環境を創ります。

(2) 資源の有効利用と環境にやさしい地域づくり

空き家を地域資源と捉えて流通・活用を促進することによって空き家の増加を抑制し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。また、将来にわたり豊かな自然環境を維持していくため、資源の循環的・効率的な利用を進め、環境負荷の低減を図ります。

(3) まちづくりへの住民参加の促進

持続可能なまちづくりのため、住民自らが主体となってまちづくりに取り組むことのできる環境を創ります。

(4) 広域的な地域間連携の促進

行政サービスの提供や観光振興などについて、人口減少や地域経済の縮小下にあっても維持や成長を促すことができるよう地域連携が有効機能する仕組みを構築します。

9 おわりに

昨今の情勢では、人口減少や少子・高齢化の進行、気候変動に伴う大規模な自然災害、新型コロナの対応など多くの課題を抱えておりますが、将来にわたって活力と魅力のある地域として発展し、生涯を通じて浦河町に暮らしたいと思うまちの実現に向けて、引き続き事業に取り組んでまいります。